81　新ロードマップに基づく資源管理等高度化促進事業

【令和７年度予算概算要求額　977（532）百万円】

＜対策のポイント＞

改正漁業法の下、資源管理体制の構築を推進するため、**「資源管理の推進のための新たなロードマップ」等に基づき、TAC管理・IQ管理の運用に必要な体制の強化、自主的な管理の強化等**を行うとともに、**国際資源の管理体制構築を推進**します。

＜事業目標＞

資源管理の推進による漁獲量の回復（漁獲量292万t［令和４年度］　→　444万t［令和12年度まで］）

＜事業の内容＞

１.国内資源の管理体制構築促進事業

①　数量管理体制構築推進事業

ア　**定置網漁業等**における**数量管理促進のための技術開発**を支援します。

イ　**定置網漁業等におけるスマート技術**を用いた漁業管理の取組等を発信します。

ウ　**IQ管理の推進に向けた調査等の取組**を支援します。

②　科学的知見に基づく資源管理協定高度化推進事業

自主的な資源管理の体制の高度化のための**資源管理協定の履行確認、取組の効果の検証**に必要な経費等を支援します。

③　遊漁資源管理システム構築事業

ア　**TAC対象資源の拡大等が進む**中、適切なTAC管理体制を確立するため、**遊漁による採捕量等を把握**するための**調査を実施**します。

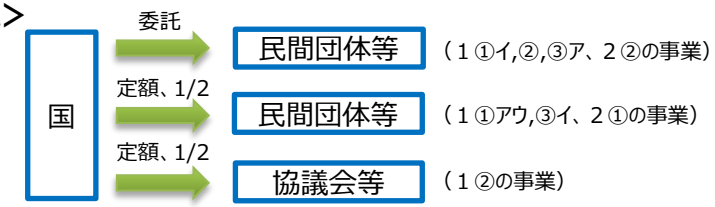
イ　遊漁船業者への講習会等の実施や遊漁船における採捕量の収集を促進させる取組を行うことに加え、遊漁指導員の育成・派遣を通じて、**遊漁船業者・遊漁者に対する資源管理等の指導・周知啓発及び安全設備の導入**を支援します。

２.国際資源の管理体制構築促進事業

①　周辺諸国等と協調した資源管理の推進等のための民間協議、国際的な資源管理に必要な情報収集等を支援します。

②　地域漁業管理機関（RFMO）によるかつお・まぐろ等の国際管理資源の**管理措置を履行**するとともに、資源評価・管理に資する**正確なデータ収集を推進します。**

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

国内資源の管理体制構築促進

「TAC管理・IQ管理を強化」

数量管理のための技術の開発
・定置網漁業等の数量管理技術の開発を支援
・スマート技術を用いた漁業管理の取組等を発信

IQ管理の推進に向けた調査等の取組
・大臣許可漁業における導入事例等を対象に、導入の効果や課題、改善点等を調査・分析する取組を支援

「自主的な管理を強化」

資源管理協定の高度化
- 資源管理協定の着実な実施に加え、資源管理協定の取組の効果の検証のために必要な調査指導等を行い、自主的資源管理措置の高度化を支援

「遊漁採捕量等の把握、遊漁者等への周知啓発等」
- TAC対象資源の拡大等に合わせた遊漁採捕量等の調査、遊漁船業者への講習会等の実施や遊漁指導員の育成・派遣及び安全設備の導入を支援。

国際資源の管理体制構築促進

- 周辺諸国等との資源管理の推進等のための民間協議、国際的な情報収集等の実施
- 科学オブザーバーの配乗・EMの実施 収集データの解析にかかる体制構築
- DNA分析等による漁獲・輸入管理

［お問い合わせ先］

（１①アイの事業）水産庁研究指導課（03-6744-0205）
（１①ウ②の事業）　漁獲監理官（03-3502-8452）
（１③の事業）　管理調整課（03-3502-7768）
（２の事業）　国際課　（03-3501-3861）